

◇ 鷹木議長、成重副議長との意見交換会

令和5年1月13日(金)、市議会棟の議長室で鷹木研一郎議長、成重正丈副議長と面会しました。井手尾会長から鷹木議長へ「農地等利用最適化推進施策の改善についての意見書」を提出し、本市の農業を取り巻く現状や課題について意見交換を行うとともに、課題解決に向けた支援の要請を行いました。鷹木議長からは「意見書の内容について副議長とともに精査、研究し、重要な課題については議会としてもがんばってまいります」との言葉をいただきました。



農業者年金に加入しませんか

農業年金は、農業者だけが加入できる公的年金です。自分で納付した保険料を年金の原資とする積み立て方式で、加入者数の変化や財政事情に左右されない公的年金です。詳しくは 農業委員会事務局 まで。

<加入要件>

- ① 20歳以上60歳未満の方
- ② 国民年金の第1号被保険者
- ③ 年間60日以上農業に従事する方



<加入のメリット>

- ① 積立方式で安定した財政運営が実施されます。
- ② 80歳まで保証のついた終身年金です。
- ③ 保険料は自由に選択でき、いつでも変更できます。
- ④ 保険料は全額所得控除の対象となります。
- ⑤ 一定の要件を満たす場合、国からの補助制度があります。

「全国農業新聞」を購読してみませんか



全国農業新聞は、農業及び農政の現状を中心に、農業者の経営とくらしに役立つ情報をお届けします。

お申し込みは 農業委員会事務局（各地区担当）まで

毎週金曜日発行
購読料

700 円/月

北九州市農業委員会事務局の窓口

- ◆ **東部地区担当**（門司区、小倉北区及び小倉南区の区域担当）
北九州市小倉南区若園五丁目1番2号（小倉南区役所内） 【電話】093-951-1021
- ◆ **西部地区担当**（若松区、八幡東区、八幡西区及び戸畑区の区域担当）
北九州市八幡西区光明一丁目9番22号（折尾出張所内） 【電話】093-693-9971
- ◆ **庶務担当**
北九州市小倉北区城内1-1（本庁舎7階） 【電話】093-582-3265

北九州市 農業委員会だより

第6号
(令和5年1月)
編集・発行
農業委員会事務局



新年のごあいさつ



北九州市農業委員会 会長 井手尾 秋義



新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、穏やかな新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。平素より農業委員会の活動に対し格別のご理解とご協力をたまわり誠にありがとうございます。昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の感染状況に不安を抱える日々が依然として続く中、コロナ禍における物流の混乱やロシアのウクライナ侵攻など、食料安全保障上のリスクの高まりを痛感した一年でありました。

農業を取り巻く環境では、農業人口の減少や高齢化、担い手不足など農業者の大幅な減少のおそれがある中で、農地等の生産基盤を守るため、その受け皿となる担い手の育成・確保と、地域を支える多様な人材・組織の確保は、喫緊の課題です。

また、食料の生産基盤である農地を確保し、地域で適切に利用されるよう、地域の話し合いにより将来の農地利用の姿を定め、農地の集約化等を進めるとともに、農地の計画的な保全、適切な利用を推進していくことも重要であります。

私ども農業委員ならびに農地利用最適化推進委員52名は、本年7月をもって3年の任期を満了することになりますが、残りの任期におきましても農業委員会の主たる使命であります「農地等の利用の最適化」（農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消等）を柱に活動を推し進めてまいります。改めて皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年がよりよい年となりますよう、また、皆さま方の益々のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

令和5年 元旦

農業委員会の活動

◇ 梅本副市長との意見交換会

農業委員会では、「農地等利用最適化推進施策の改善についての意見書」をとりまとめ、令和4年10月27日(木)に市へ提出し、梅本副市長と本市の農業を取り巻く現状や課題、今後の農業振興の取り組みについて、意見交換を行いました。

当日は、市から梅本副市長、産業経済局 池永理事、坂田農林水産部長、藤島農林課長、中野農林施設担当課長、柳川鳥獣被害対策課長が、農業委員会からは井手尾会長、東部部会から中村副部会長、八木田副部会長、西部部会から久野副会長、大庭副部会長、倉成副部会長が出席しました。

農業委員会から意見書の概要を説明した後、『北九州市版むらづくり活動の活性化』をテーマに意見交換を行いました。

梅本副市長からは「将来にわたって持続可能な農業を実現するためには、地域において課題解決に向けた合意形成を行う『むらづくり活動』が重要であり、その推進に向けて農業委員会の皆さんにご協力をお願いしたい」との発言がありました。



